



## 2020年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月11日

上場会社名 株式会社 大盛工業 上場取引所 東  
 コード番号 1844 URL http://www.ohmori.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田 明彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 及川 光広 TEL 03-6262-9877  
 四半期報告書提出予定日 2020年3月16日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年7月期第2四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年1月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第2四半期	2,375	△17.6	387	70.1	376	84.8	293	97.1
2019年7月期第2四半期	2,883	71.2	227	19.8	203	21.2	148	△0.2

(注) 包括利益 2020年7月期第2四半期 293百万円 (97.1%) 2019年7月期第2四半期 148百万円 (△0.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第2四半期	19.79	19.52
2019年7月期第2四半期	10.04	9.95

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年7月期第2四半期	8,445	4,099	47.9	272.46
2019年7月期	8,215	3,865	46.5	257.67

(参考) 自己資本 2020年7月期第2四半期 4,041百万円 2019年7月期 3,822百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年7月期	—	0.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,909	△17.8	501	15.7	481	5.0	378	140.6	25.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期2Q	14,848,429株	2019年7月期	14,848,429株
② 期末自己株式数	2020年7月期2Q	14,468株	2019年7月期	13,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期2Q	14,834,308株	2019年7月期2Q	14,835,027株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速や輸出の弱含み等により景況感の低下傾向が見られたものの、雇用・所得環境の改善の継続により個人消費が底堅く推移したほか、高い水準の企業収益等の維持により、緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界におきましては、引き続き民間設備投資が堅調に推移したほか、公共投資も底堅く推移したことにより、市場環境は良好な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループの主力の建設事業におきましては、工事コストの低減並びに施工期間の短縮に向けた取り組みを継続し、完成工事総利益増加に注力してまいりました。

不動産事業等におきましては、不動産賃貸収益、太陽光発電設備における収益増加に努めるとともに、OLY機材リース事業における販売増加に向けた営業強化に注力してまいりました。

通信関連事業におきましては、売上高及び売上総利益の増加に向け、保守・管理体制の強化を図るとともに、受注増加に向けた営業活動を継続してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,375,303千円(前年同期比17.6%減)、営業利益は387,014千円(前年同期比70.1%増)、経常利益は376,629千円(前年同期比84.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は293,626千円(前年同期比97.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (建設事業)

建設事業におきましては、受注高1,858,195千円(前年同期比5.1%減)、売上高1,749,497千円(前年同期比10.3%減)、セグメント利益(営業利益)289,351千円(前年同期比125.8%増)となりました。

#### (不動産事業等)

不動産事業等におきましては、不動産物件の売却並びに賃貸収入、OLY機材のリース販売等により、売上高425,782千円(前年同期比41.0%減)、セグメント利益(営業利益)65,234千円(前年同期比12.2%減)となりました。

#### (通信関連事業)

通信関連事業におきましては、NTT局内の通信回線の保守・管理業務等により、売上高203,336千円(前年同期比0.6%減)セグメント利益(営業利益)33,006千円(前年同期比19.7%増)となりました。

#### (その他)

その他事業におきましては、クローゼットレンタル事業等により、売上高2,179千円(前年同期比86.8%減)、セグメント損失(営業損失)577千円(前年同期は2,513千円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産の残高は、8,445,266千円となり、前連結会計年度末に比べ229,887千円増加いたしました。増加の主な理由は、受取手形・完成工事未収入金等の増加90,929千円、未成工事支出金の増加124,036千円、不動産事業等支出金の減少44,043千円、販売用不動産の増加73,299千円、有形固定資産の減少21,530千円、のれんの減少30,029千円、長期貸付金の増加32,662千円、貸倒引当金の増加5,346千円、退職給付に係る資産の増加9,595千円、繰延税金資産の減少7,915千円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の残高は、4,345,972千円となり、前連結会計年度末に比べ3,460千円減少いたしました。減少の主な理由は、工事未払金の減少75,423千円、短期借入金の増加375,195千円、未払金の減少2,577千円、未成工事受入金の減少378,969千円、賞与引当金の減少27,537千円、未払法人税等の増加53,318千円、その他流動負債の減少71,775千円、長期借入金の増加125,295千円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、4,099,293千円となり、前連結会計年度末に比べ233,348千円増加いたしました。増加の主な理由は、利益剰余金の増加219,454千円、新株予約権の増加14,009千円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における「現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の四半期末残高」は1,929,816千円となり、前連結会計年度末に比べ2,444千円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況等につきましては次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は378,149千円(前年同四半期は1,614,687千円の減少)となりました。資金の主な減少は、売上債権の増加90,929千円、たな卸資産の増加153,057千円、仕入債務の減少75,423千円、未成工事受入金の減少378,969千円であり、資金の主な増加は、税金等調整前四半期純利益371,839千円、減価償却費29,387千円、のれん償却額30,029千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は44,274千円(前年同四半期は159,323千円の減少)となりました。資金の主な減少は有形固定資産の取得による支出12,200千円、貸付けによる支出40,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は424,686千円(前年同四半期は1,750,710千円の獲得)となりました。資金の主な増加は、短期借入れによる収入1,910,000千円、長期借入れによる収入400,000千円であり、資金の主な減少は、短期借入金の返済による支出1,601,662千円、長期借入金の返済による支出207,847千円、配当金の支払額74,361千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月期の通期の業績予想につきましては、2020年3月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,958,580	1,961,025
受取手形・完成工事未収入金等	2,114,579	2,205,509
未成工事支出金	302,796	426,832
不動産事業等支出金	178,733	134,689
販売用不動産	2,002,792	2,076,091
貯蔵品	270	35
その他	110,982	104,158
貸倒引当金	△3,444	△2,365
流動資産合計	6,665,290	6,905,977
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	487,954	474,138
機械・運搬具(純額)	70,814	64,287
土地	608,922	608,922
リース資産(純額)	5,071	3,884
有形固定資産合計	1,172,763	1,151,233
無形固定資産		
のれん	106,173	76,144
その他	3,491	3,014
無形固定資産合計	109,665	79,158
投資その他の資産		
長期貸付金	41,480	74,142
保険積立金	36,578	36,578
退職給付に係る資産	2,316	11,912
繰延税金資産	67,825	59,910
その他	130,688	144,010
貸倒引当金	△11,231	△17,657
投資その他の資産合計	267,658	308,896
固定資産合計	1,550,088	1,539,288
資産合計	8,215,378	8,445,266

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	388,411	312,988
短期借入金	1,150,659	1,525,854
未払金	53,545	50,968
未払法人税等	25,931	79,250
未成工事受入金	577,186	198,216
賞与引当金	59,728	32,191
完成工事補償引当金	30,174	29,693
その他	168,812	97,036
流動負債合計	2,454,450	2,326,200
固定負債		
長期借入金	1,868,397	1,993,693
その他	26,585	26,079
固定負債合計	1,894,983	2,019,772
負債合計	4,349,433	4,345,972
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,765,371	2,765,371
資本剰余金	704,701	704,336
利益剰余金	406,929	626,383
自己株式	△54,632	△54,383
株主資本合計	3,822,369	4,041,708
新株予約権	43,575	57,585
純資産合計	3,865,945	4,099,293
負債純資産合計	8,215,378	8,445,266

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	1,951,167	1,749,497
不動産事業等売上高	711,623	420,340
通信関連売上高	204,560	203,336
その他の売上高	16,419	2,129
売上高合計	2,883,770	2,375,303
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	1,671,172	1,268,167
不動産事業等売上原価	600,499	325,989
通信関連原価	96,951	97,667
その他の売上原価	15,510	404
売上原価合計	2,384,135	1,692,229
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	279,994	481,330
不動産事業等総利益	111,123	94,350
通信関連総利益	107,609	105,668
その他の売上総利益	908	1,724
売上総利益合計	499,635	683,074
販売費及び一般管理費	272,094	296,059
営業利益	227,540	387,014
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1,735	1,697
為替差益	—	181
未払配当金除斥益	1,908	1,631
受取補償金	6,736	—
受取保険金	—	1,486
その他	5,869	3,346
営業外収益合計	16,249	8,343
<b>営業外費用</b>		
支払利息	23,556	14,140
支払手数料	15,000	—
貸倒引当金繰入額	—	4,580
その他	1,413	6
営業外費用合計	39,970	18,727
経常利益	203,819	376,629
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	—	29
特別利益合計	—	29
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	—	4,820
特別損失合計	—	4,820



(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
税金等調整前四半期純利益	203,819	371,839
法人税、住民税及び事業税	41,335	69,316
法人税等調整額	13,525	8,896
法人税等合計	54,860	78,212
四半期純利益	148,959	293,626
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	148,959	293,626
四半期包括利益	148,959	293,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	148,959	293,626

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	203,819	371,839
減価償却費	43,339	29,387
のれん償却額	7,766	30,029
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,919	5,296
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,447	△27,537
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	4,956	△480
受取利息及び受取配当金	△1,735	△1,697
支払利息	23,556	14,140
売上債権の増減額(△は増加)	△1,614,179	△90,929
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,404	△153,057
仕入債務の増減額(△は減少)	△24,656	△75,423
未成工事受入金の増減額(△は減少)	△10,914	△378,969
固定化営業債権の増減額(△は増加)	—	△8,495
その他	△74,175	△78,355
小計	△1,576,995	△364,252
利息及び配当金の受取額	1,735	1,697
利息の支払額	△23,410	△19,140
補償金の受取額	21,736	—
法人税等の還付額	—	19,987
法人税等の支払額	△37,753	△16,441
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,614,687	△378,149
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△23,316	△12,200
貸付けによる支出	—	△40,000
貸付金の回収による収入	21,432	12,446
投資有価証券の売却による収入	26,106	—
定期預金の預入による支出	△55,400	△4,900
定期預金の払戻による収入	11,000	—
関係会社株式の取得による支出	△135,812	—
その他	△3,335	379
投資活動によるキャッシュ・フロー	△159,323	△44,274
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,800,000	1,910,000
短期借入金の返済による支出	△425,000	△1,601,662
長期借入れによる収入	1,000,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△300,959	△207,847
割賦債務の返済による支出	△246,229	—
配当金の支払額	△74,477	△74,361
リース債務の返済による支出	△2,479	△1,326
その他	△142	△116
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,750,710	424,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,243	181
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,544	2,444
現金及び現金同等物の期首残高	1,606,889	1,927,371
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,582,344	1,929,816

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2019年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	建設事業	不動産事業等	通信関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,951,167	711,623	204,560	2,867,350	16,419	2,883,770	—	2,883,770
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	10,357	—	10,357	30	10,387	△10,387	—
計	1,951,167	721,980	204,560	2,877,707	16,449	2,894,157	△10,387	2,883,770
セグメント利益又はセグメント損失(△)	128,162	74,325	27,566	230,054	△2,513	227,540	—	227,540

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル事業及び鍼灸接骨院事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△10,387千円は、セグメント間取引消去△10,387千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致してあります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「建設事業」セグメントにおいて、井口建設株式会社の発行済株式の全部を取得したことに伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は96,834千円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年1月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)3
	建設事業	不動産事業等	通信関連事業	計				
売上高 外部顧客へ の売上高	1,749,497	420,340	203,336	2,373,174	2,129	2,375,303	—	2,375,303
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	—	5,442	—	5,442	50	5,492	△5,492	—
計	1,749,497	425,782	203,336	2,378,616	2,179	2,380,796	△5,492	2,375,303
セグメント利 益又はセグメ ント損失(△)	289,351	65,234	33,006	387,591	△577	387,014	—	387,014

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クローゼットレンタル事業の売上等であります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

売上高の調整額△5,492千円は、セグメント間取引消去△5,492千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、建設事業における株式会社山栄テクノに係るのれんの一時償却を計上しており、当該一時償却によるのれんの減少額は15,807千円であります。